

講座名称：「高冷地域植物生産生態学演習」
「高冷地域動物生産生態学演習」
「高冷地域生物生産生態学演習」

各2単位

担当教員：高冷地域植物生産生態学演習 春日重光，今井裕理子，椎葉湧一郎
高冷地域動物生産生態学演習 今井裕理子，上野 豊，椎葉湧一郎
高冷地域生物生産生態学演習 春日重光，今井裕理子，椎葉湧一郎

対象学生：全国の大学2年生以上

実施時期：高冷地域植物生産生態学演習 令和6年8月19日（月）～8月22日（木）
高冷地域動物生産生態学演習 令和6年8月26日（月）～8月29日（木）
高冷地域生物生産生態学演習 令和6年9月2日（月）～9月5日（木）
※全日程，最終日の終了時刻は15：30の予定です。

※応募者多数の場合は，受講志望理由書等により選考いたします。

集合時刻：各回とも初日の9時00分（農学部）

集合場所：伊那キャンパス管理棟前ロータリー（長野県上伊那郡南箕輪村8304）
※各集合場所までは公共交通機関を利用すること。

実施場所：信州大学農学部附属アルプス圏フィールド科学教育研究センター
野辺山ステーション
（長野県南佐久郡南牧村大字野辺山字ニツ山462-1 TEL：0267-98-2638）
構内ステーション

（長野県上伊那郡南箕輪村8304 TEL：0265-77-1300（代））

※詳しい集合場所および実施場所については信州大学農学部HPをご覧ください。

（<https://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/agriculture/access/>）



内 容：信州大学農学部附属アルプス圏フィールド科学教育研究センター（AFC）には，フィールド科学の実践の場として，農学部構内に設置された構内ステーションと南牧村に設置された野辺山ステーションがあります。

構内ステーションは長野県上伊那郡にある南箕輪村（標高720m）に位置しています。果樹，野菜および花卉など多くの園芸作物を圃場およびハウス等の施設で栽培し，さらに収穫した果実，野菜については一部加工も行うなど，園芸作物の栽培から利用，加工，直売所での販売まで一貫した農産物の生産を行っています。畜産では黒毛和種の繁殖経営とトウモロコシ，ソルガム，ライムギおよび牧草など自給飼料作物生産による循環型畜産経営を実践しています。

八ヶ岳東山麓の野辺山高原（標高1,351m）に位置する野辺山ステーションには19haの農場と自炊設備を備えた宿泊施設（収容97名）があり，周辺一帯は高原野菜の栽培と酪農が盛んな地域です。野辺山ステーションでは夏季の冷涼な環境を活用し，高冷地特産のキャベツやベニバナインゲン，ソバを主に生産しています。また黒毛和種の繁殖飼育を行っています。こうした環境のなかで環境保全型農業に関わる教育，研究を推進しています。

本演習では，教員および技術職員の指導により，高冷地である野辺山ステーションおよび準高冷地である構内ステーションを活用して，高冷地作物の収穫・出荷や野菜・果樹類の収穫，家畜の飼養管理，畜産物加工を行う他，農家や出荷場，畜産関連施設の見学などを通じて，食料の生産から出荷・販売までの一連の過程を学びます。また，共同作業を行うことによって協調性を培う機会を創出することも本演習の目的の一つです。

本年度の演習計画は以下の内容で予定しています。各演習はほぼ同様の内容を取り扱いますが，演習により重点的に取り組む項目が若干異なります。

【高冷地域植物生産生態学演習】

野辺山ステーションおよび構内ステーションで栽培される多くの園芸作物を教材に、近隣のJA施設、農家見学、加工実習などを通して、高冷地域における作物の栽培から収穫・出荷までを重点的に学びます。

- 8月19日（月） 農学部集合（9：00），バスで野辺山ステーションまで移動
ガイダンス、南牧村もしくは川上村の農家と出荷場の見学、高冷地農業についての講義（野辺山ステーション宿泊）
- 8月20日（火） 高冷地作物の収穫・出荷作業
作業後、バスで伊那キャンパスに移動
- 8月21日（水） 構内農場に集合。農家見学、野菜・果樹類の収穫、栽培管理
- 8月22日（木） 野菜・果樹類の収穫、栽培管理
レポート作成、アンケート回答次第解散（15：30）

【高冷地域動物生産生態学演習】

肉用牛および乳用牛の飼養管理、飼料作物の管理、畜産物の加工、近隣の畜産関連施設見学などを通して、高冷地域における畜産と耕畜連携について重点的に学びます。

- 8月26日（月） 農学部集合（9：00），バスで野辺山ステーションまで移動
野辺山ステーションの見学、牧場または出荷場の見学（野辺山ステーション宿泊）
- 8月27日（火） 高冷地野菜（キャベツ）の収穫・管理
作業後、バスで伊那キャンパスに移動
- 8月28日（水） 構内農場に集合。畜産関連施設見学、飼料作物・牧草の管理および調査
- 8月29日（木） 乳製品加工
レポート作成、アンケート回答次第解散（15：30）

【高冷地域生物生産生態学演習】

野辺山ステーションおよび構内ステーションにおいて、演習では収穫体験を主として農から食への過程を体験的に学習し、座学では園芸作物生産の基礎知識を習得します。高冷地域の植物生産と動物生産を複合的に学ぶことで、「食の安全、安心、安定生産」や「環境保全」などの分野に対する理解をより深めます。

- 9月2日（月） 農学部集合（9：00），バスで野辺山ステーションまで移動
ガイダンス、南牧村もしくは川上村の農家と出荷場の見学、高冷地農業についての講義（野辺山ステーション宿泊）
- 9月3日（火） 高冷地作物の収穫・出荷作業
作業後、バスで伊那キャンパスに移動
- 9月4日（水） 構内農場に集合。農家見学、野菜・果樹類の収穫、栽培管理
- 9月5日（木） 野菜・果樹類の収穫、栽培管理
レポート作成、アンケート回答次第解散（15：30）

※天候および野菜の生育状況、受講学生の専攻等により計画を一部変更することもあります。

※台風、地震等のやむを得ない事情によって実習中止もしくは日程、内容を変更する場合があります

※実習中止もしくは変更になる場合はAFCホームページ上でお知らせいたします。随時ご確認ください。

(<https://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/agriculture/institutes/afc/news/>)

参加費用：高冷地域植物生産生態学演習、高冷地域生物生産生態学演習/演習期間中の食費、宿泊費等（1,000～2,000円）を現地で徴収します。

高冷地域動物生産生態学演習：演習期間中の食費、宿泊費、畜産関連施設の利用料等（2,000～3,000円）を現地で徴収します。

※各演習とも、集合場所までの旅費は自己負担です。

宿 泊：各演習とも1日目は野辺山ステーション^(注1)に宿泊します。2日目、3日目の宿泊は不要です。
なお、2日目、3日目の宿泊が必要な学生には、伊那キャンパス内にある食と緑の科学資料館
「ゆりの木」宿泊施設^(注2)もしくは近隣の宿泊施設を紹介します。

提出書類：自大学の学務(教務)担当者と相談の上、下記の書類を提出してください。
IとIIの受入身分の違いによって提出書類が異なるのでご注意ください。
※受入身分について等、不明な点がある場合は下記お問い合わせ先へご連絡ください。

I. 単位互換協定の協定校の学生等で特別聴講学生となる場合

以下6点の書類を所属大学・学部の学務(教務)係等へ提出してください。

- ①特別聴講生受入依頼書(履修希望学生の所属大学学部長から信州大学農学部長へ)
- ②単位互換科目「信州大学公開農場実習」の履修願(履修希望学生から信州大学農学部長へ)
- ③特別聴講学生申告書(履修希望学生から所属大学学部長へ)
- ④受講志望理由書
- ⑤学生教育研究災害保険及び学研災付帯賠償責任保険の加入証明書の写し
- ⑥成績証明書

※書類は所属大学・学部の学務(教務)係等にお問い合わせください(①～④は下記URLよりダウンロードできます)。

II. 特別聴講学生とならない場合

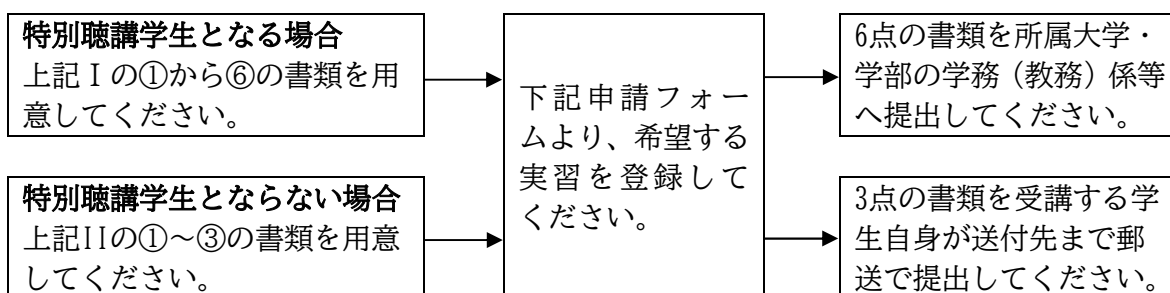
以下3点の書類(①～②は下記URLよりダウンロードできます)を受講希望学生自身が送付先まで提出してください。

ただし指導教員、クラス担任等の押印が必要です。

- ①申込書
- ②受講志望理由書
- ③学生教育研究災害保険及び学研災付帯賠償責任保険の加入証明書の写し

※所属大学によっては、正課ではない授業には保険が適用されない場合がありますのでご確認ください。

申込方法：下記に従って申し込んでください。



※申請フォームおよび様式ダウンロードURL：

<https://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/agriculture/institutes/afc/>
(令和6年度「公開農場実習」受講生募集のお知らせ内のリンクをクリック)



書類送付・お問い合わせ先：

〒399-4598 長野県上伊那郡南箕輪村8304 信州大学農学部総務グループ附属施設担当

Tel：0265-77-1318 Fax：0265-77-1315 Email：afc_infor@shinshu-u.ac.jp

※送付の際には、封筒の表に「公開実習受講申込書在中」と朱書き願います。

提出締切：Ⅰ・Ⅱとも令和6年7月5日（金） 信州大学農学部必修

受講許可：書類の提出後、受講の可否について本人に通知します。

履修上の注意事項：

Ⅰ. 特別聴講学生となる場合

修了者には信州大学農学部から所属大学・学部の学務（教務）宛に単位修得証明書を発行します。

Ⅱ. 特別聴講学生とならない場合

修了者には「修了証」を発行します。自大学で単位の認定を希望する学生は、事前に自大学学務担当係等に確認してください。

受講にあたっての注意事項：

発熱、倦怠感など体調に異変を感じた場合は、無理をせずキャンセルしてください。

※キャンセル連絡先：信州大学農学部総務グループ附属施設担当 TEL：0265-77-1318

（実習前日（土日を含まない）13時まで）

その他特記事項：

◎持参物

昼食、飲み物、健康保険証、作業着^{（注3）}、帽子（収穫作業および日焼け防止用）、手袋（作業に適したゴム（園芸用）手袋等）、ゴム長靴、カップ、日焼け止め、防虫スプレー、虫刺され薬、筆記用具、宿泊に必要な身の回り品（洗面具、タオル、着替えを含む）^{（注1）}、集合場所までの交通費

◎食事

各演習とも、1日目、3日目、4日目の昼食は各自で用意、持参すること。1日目の夕食、2日目の朝食および昼食は自炊もしくはケータリング等で対応いたします。

◎欠席について

- ・ 1週間前までに信州大学農学部総務グループ附属施設担当まで申し出てください。
- ・ 直前にやむなく欠席・遅刻する場合は、各演習の前日（土日を含まない）13時までに信州大学農学部総務グループ附属施設担当に連絡してください。
- ・ 当日やむなく欠席・遅刻する場合は、野辺山ステーション（椎葉携帯：080-6458-1161）に必ず連絡してください。

注1：野辺山ステーションは高標高のため朝夕は冷え込むので、防寒着等が必要です。

男性用洗濯室・乾燥室、女性用洗濯室・乾燥室（洗剤、ハンガーはありますが、柔軟剤等はありません）が利用できます。

野辺山ステーション宿泊施設に石鹸、シャンプー、タオル等のアメニティ用品はありません。また施設内に自動販売機はありません。アメニティ用品、飲み物等は各自ご用意ください。

野辺山ステーション内にゴミ箱はありません。ゴミ袋を持参のうえ、各自持ち帰ってください。

注2：食と緑の科学資料館「ゆりの木」宿泊施設には、シングルベッド2台、ユニットバス、エアコン、冷蔵庫、電気ポット付の部屋が2室あり、1泊素泊まり4,000円です（寝間着、タオル、洗面道具等はございませんので、各自ご用意ください）。実習中は状況により、相部屋をお願いすることもあります。

なお、同じフロア内に留学生用宿舎があり、留学生が長期滞在しています。

注3：長袖、長ズボン等動きやすく、汚れても構わない服装であれば特に指定はありません。ジャージ上下、つなぎ等も可能。